

研究成果情報	園芸	5	野菜	栽培
新技術・情報名	トマト「ハウス桃太郎」の促成栽培における仕立て法		分類	①

## 1. 成果の内容

### 1) 技術、情報の内容及び特徴

トマト「ハウス桃太郎」の促成栽培における仕立て法は、主枝9段直立誘引か主枝7段+6段直上分枝で2段収穫する方法が、正常果が多く、果実の揃いが良くなる。

- (1) 仕立て法は、主枝で7段、分枝で2段収穫する場合、4段果房や5段果房の直上分枝を仕立てると、主枝の5段から7段果房と分枝果房の開花期や果実肥大が競合するので、分枝は6段果房の直上分枝を仕立てる。
- (2) 正常果数は、直立誘引法が多くなるが、果房数で9段収穫する場合、上段果房が小玉になる。収量は、主枝7段と6段直上分枝で2段収穫する方法が平均果重が重く増加する。斜め誘引や主枝と分枝が競合する仕立て法は、誘引に多くの労働を要し、また、葉が込み合って病害虫の発生が多くなる。
- (3) 果実の大きさは、草勢に大きく影響する1段、2段及び3段果房の着果数を合計9果に制限すると安定して大きくなる。定植後の草勢が強い場合は、1段果房を3果や4果にして2段果房をそれぞれ3果、2果にする。草勢がやや弱い場合は、1段果房を3果に、2段果房は、2果になるよう摘果する。

### 2) 技術・情報の適応効果

草勢に適合した仕立て法により、良品生産が可能になる。

### 3) 適用範囲

県下全域

### 4) 成果の利活用・普及指導上の留意点

長期に収穫する場合は、定植前に深耕して根群の拡大を図り草勢を維持する。主枝と分枝で収穫する場合は、葉が込み合わないよう誘引や摘葉を行い病害虫の発生を予防する。

## 2 具体的データ

表1 仕立て方法と開花日 (平成2年)

仕立て方法	開花日								
	1段花房	2	3	4	5	6	7	8	9
主枝9段直立誘引	10.31	11.12	11.26	12. 8	12.25	1. 6	1.17	2. 7	2.15
主枝9段斜め誘引	10.31	11.11	11.26	12. 4	12.20	1. 8	1.20	2. 4	2.14
主枝7段+6段直上分枝で2段	10.29	11.10	11.22	12. 5	12.16	1. 2	1.17	1.31	2.16
主枝7段+5段直上分枝で2段	10.29	11.11	11.21	12. 8	12.20	1. 5	1.17	1.17	1.31
主枝7段+4段直上分枝で2段	11. 3	11.13	11.27	12.10	12.25	1. 5	1.19	12.27	1. 9

注) 分枝の第1段開花日は、8段花房に、分枝の第2段開花日は9段花房に記入した。

表2 仕立て法と収量 (平成2年)

仕立て法	正 常 果			正 常 果		
	収穫果数	平均果重	収量	収穫果数	平均果重	収量
主枝9段直立誘引	23.7果	84.0g	4.8t	28.1果	85.5g	5.8t
主枝9段斜め誘引	22.5	88.0	4.8	27.6	92.2	6.2
主枝7段+6段直上分枝で2段	21.6	108.0	5.5	27.7	112.8	7.4
主枝7段+5段直上分枝で2段	22.4	92.4	5.0	28.0	94.4	6.2
主枝7段+4段直上分枝で2段	21.1	88.1	4.6	27.6	90.4	6.0

注) 収穫果数は1株当たり、収量は10a当たり

表3 1段、2段及び3段果房の着果数と月別平均果重及び収量 (平成3年)

1段、2段及び3段の着果数	平均果重				正 常 果		
	2月	3月	4月	5月	収穫果数	平均果重	収量
1段果 2段果 3段果							
4 - 2 - 3	140	147	156	124	21.6	142	7.4
4 - 3 - 3	122	120	133	113	20.0	122	5.8
4 - 4 - 3	124	113	125	103	21.4	116	6.0
3 - 2 - 3	149	150	139	129	19.3	142	6.5
3 - 3 - 3	147	136	158	125	20.1	142	7.0
3 - 4 - 3	129	104	98	95	21.0	107	6.0

注) 仕立て法は直立誘引

## 3 その他特記事項

担当部科室名：園芸研究所 野菜花き部 野菜栽培研究室

研究担当者名：豆塚茂実、山本幸彦、小野剛士

研究課題名：丸型完熟型トマトの栽培技術確立

期 間：平成元年～平成3年

予算区分：経常

既発表論文・資料名等：平成元年度野菜試験成績書

取りまとめ責任者名：豆塚茂実